

図書便り(10月号)

令和6年(2024年)10月23日(水)発行

文責 山瀬

～読書の秋です～

日没の時間が早くなり、夜が長い季節となりました。だんだんと過ごしやすい気温にもなり、読書に最適な時期ですね。みなさんは最近どんな本を読みましたか？

定時制食堂におすすめの本のスポットを作っています。今回はハロウィンに関する本を掲示しています。飾り付けやお菓子作りの参考にして下さい。おすすめの本コーナーに飾り付けてある折り紙は、数名の1年生がおすすめの本を見ながら作ってくれたものです。かわいい仕上がりです。みなさんもぜひ本を手にとってみて下さい。



🌸 図書案内 🌸

おすすめの本コーナー

今月の図書紹介は秋の夜長に読んでほしい本です。気になる本がありましたら、定時制図書室まで。

『赤と青とエスキース』

青山 美智子(著)



メルボルンの若手画家が描いた一枚の「絵画(エスキース)」。その一枚の絵画をめぐる五つの短編物語。張り巡らされた伏線に、読み終えた瞬間、「えっ、どういうこと」と驚いています。登場人物を確認し、もう一度最初から読み返したくなる作品です。

『世界のねこことわざ』

noritamami(著)



世界中から集めた「猫」が出てくることわざ。猫は、世界各地のあらゆる時代に人間と共に生活をしています。だから猫に関することわざは意外に多いのです。この本は、猫の写真と意味、解説、豆知識も合わせた猫好きにはたまらない一冊です。

『面白すぎて誰かに話したくなる紫式部日記』

岡本 梨奈(著)



2024年度の大河ドラマ「光る君へ」の主人公である紫式部。実際の紫式部はどのような人物だったのでしょうか。予備校講師としても人気の著者岡本梨奈が『紫式部日記』をもとに、紫式部の人物像に迫る一冊です。紫式部になりきって書かれている「紫式部 心の声」も面白いですよ。

『神保町・喫茶ソウセキ 文豪カレーの謎解きレシピ』

柳瀬 みちる(著)



喫茶ソウセキを開店した千晴。神保町で店舗を貸し出す条件は、カレーを提供すること。店は空席が目立ち、経営危機。そんなときに来店した作家・葉山に文豪をモチーフにしたカレーを酷評されてしまい。そこから千晴はカレー作りのヒントに母が残した『三四郎』を読み返します。その本に挟まっていた一枚のメモが事件へとつながっていきます。カレー×ミステリーの異色の作品です。